

11. 地域との連携

11-1. 地域連携を巡る動き

緑川流域では川を中心とした住民活動がさかんであり、リバースクールやカヌー体験、環境学習、安全講習等の活動を実施していると共に、各個別の団体が協力して連携を深めるための活動が盛んである。

11-2. 地域連携における取り組み

緑川流域では地域住民の生活基盤や歴史、文化、風土を形成してきた緑川の恵みを活かしつつ、緑川と周辺の自然環境、歴史的土木施設、観光資源が一体となった活力ある地域づくりを目指しつつ、水辺空間を活かしたリバースクールやカヌー体験、環境学習、安全講習等の活動を行っている。また、流域の連携を深めるための上下流交流や漁民の森植樹活動等を行う他、流域の統一行動として実施される「緑川の日」の流域一斉清掃等の活動を行っている

このため、緑川情報室等、情報の発展・支援・人的交流拠点施設の活用を図りながら、河川に関する情報を地域住民と幅広く共有し、住民参加による河川清掃、河川愛護活動等を推進するとともに、河川を中心に活動する市民団体等との協力・連携等を図っている。

①緑川の日

緑川流域では、毎年4月29日を「緑川の日」として流域の統一行動として流域4市11町村の行政や住民が一体となり緑川の一斉清掃や交流会を実施。

平成19年までに14年目を迎えており毎年約2万人の住民が河川周辺の環境美化に取り組んでいる。



(写真：熊本河川国道事務所)

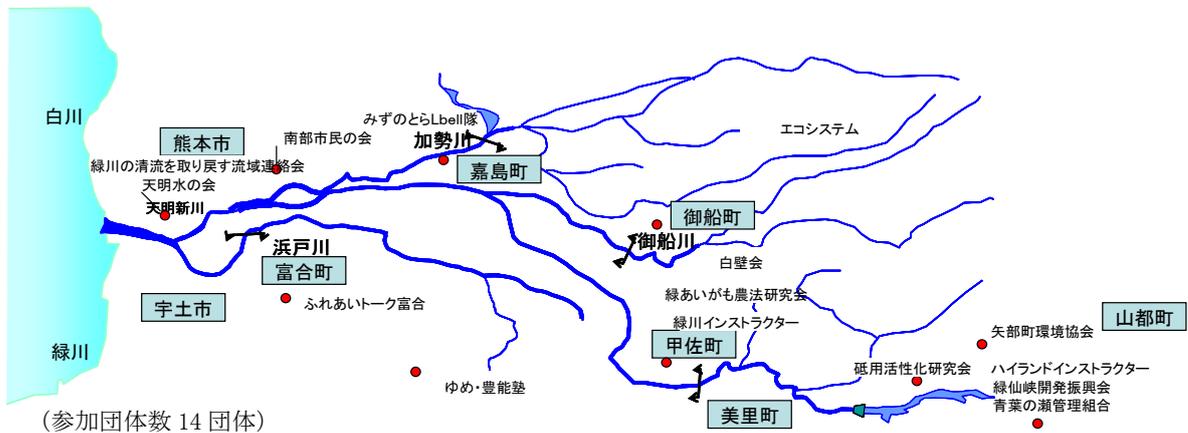
②NPO 法人緑川流域連携会議の発足（平成 15 年 12 月～）

流域の連携を深めるために情報交換や人的交流を促進し、流域の環境向上・文化の発展に寄与することを目的に、より一層の連携とその意義を深めていくために恒常的な組織を発足している。



緑川では数多くの活動する団体があり、その情報と連携を図るため、緑川流域連携会議が平成15年に発足し、活発に活動している。

(写真：熊本河川国道事務所)



< 目的 >

緑川流域の連携を深めるための情報交換や人的交流を促進し、流域の環境向上、文化の発展に寄与することを目的とする。

< 活動の種類 >

- 1) まちづくりの推進を図る活動
- 2) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 3) 環境の保全を図る活動
- 4) 子供の健全育成を図る活動
- 5) 経済活動の活性化を図る活動 他

③ 緑川情報室（平成 14 年 6 月～）

緑川流域の住民連携・交流・情報発信拠点として緑川流域の川、生態、自然、人材、活動団体・活動状況、イベント情報等の収集・発信等を行っている。

緑川リバーツーリズムや緑川リバースクール等の各種活動の支援を行っている。

「緑川下流出張所」敷地内に設置。常に情報の交換、連携、交流を行っている。



(写真：熊本河川国道事務所)

④ 加勢川流域懇談会(平成 11 年 11 月～)

平成 10 年 6 月に認定を受けた「ふるさとの川整備事業」の整備計画実施に向けて住民参加の川づくりをめざし発足。

現在整備中の加勢川川尻地区の川づくりにおいて、地区の代表者で構成した河川改修検討会と川尻らしい景観や歴史的建造物を保全した地域づくりを目指し、住民と行政間で意見交換を行いながら整備を行っている。



(写真：熊本河川国道事務所)



「熊本河川国道事務所パンフレット」より